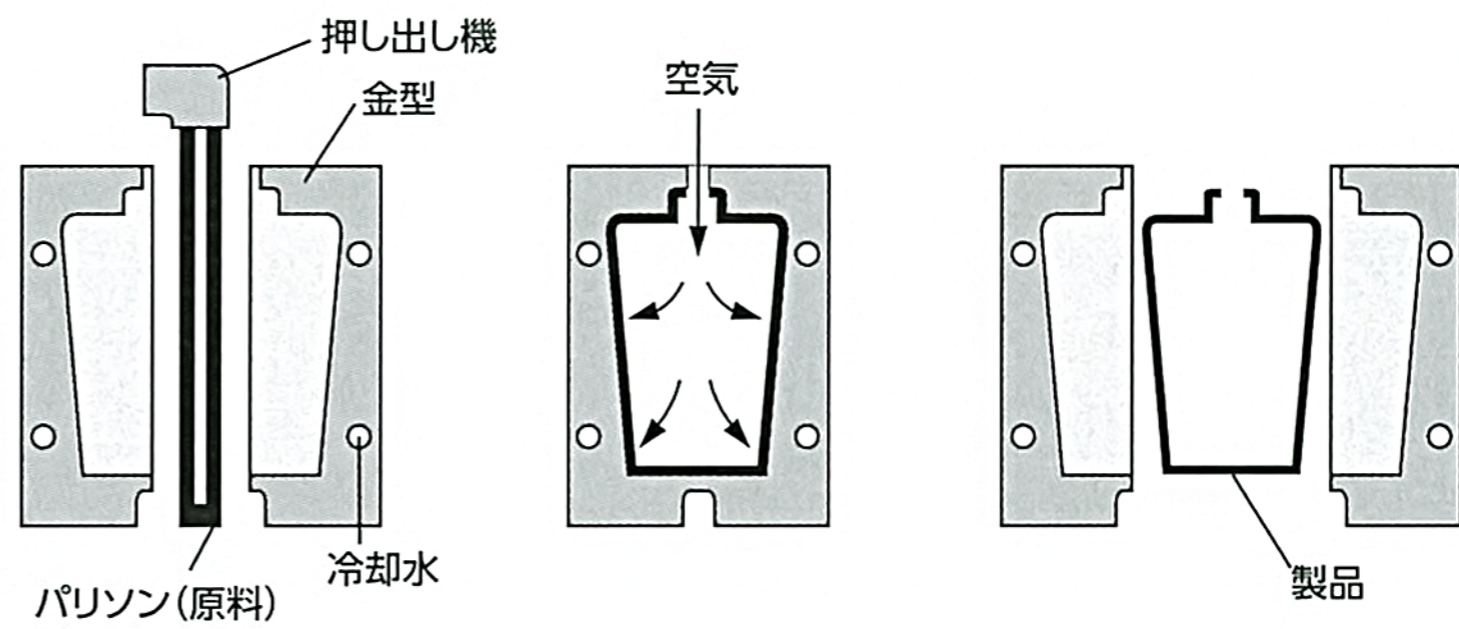


座 高密度ポリエチレン／ブロー成形品



◆ブロー成形概要



■高密度ポリエチレン物性表

項目	単位	規定規格	物性値
MFR	g/10min	JIS K6922-2	HL* 5
密度	g/cm ³	JIS K7112	0.947
引張降伏応力	MPa	JIS K6922-2	25
引張破壊呼びひずみ	%	JIS K6922-2	>400
曲げ弾性率	MPa	JIS K6922-2	1,050
シャルピー衝撃強さ	kJ/m ²	JIS K6922-2	破壊せず
ポリオレフィン等衛生協議会自主規制基準			[A]EZar-0059-L

■上記は測定値であり、保証値ではありません。
* : 21.6kg荷重による値です

■高密度ポリエチレンの耐候性試験結果

試験条件	ブランク	500H	1000H	1500H	2000H
JIS A 1415 (ΔE値)	—	1.1	1.3	1.5	1.6

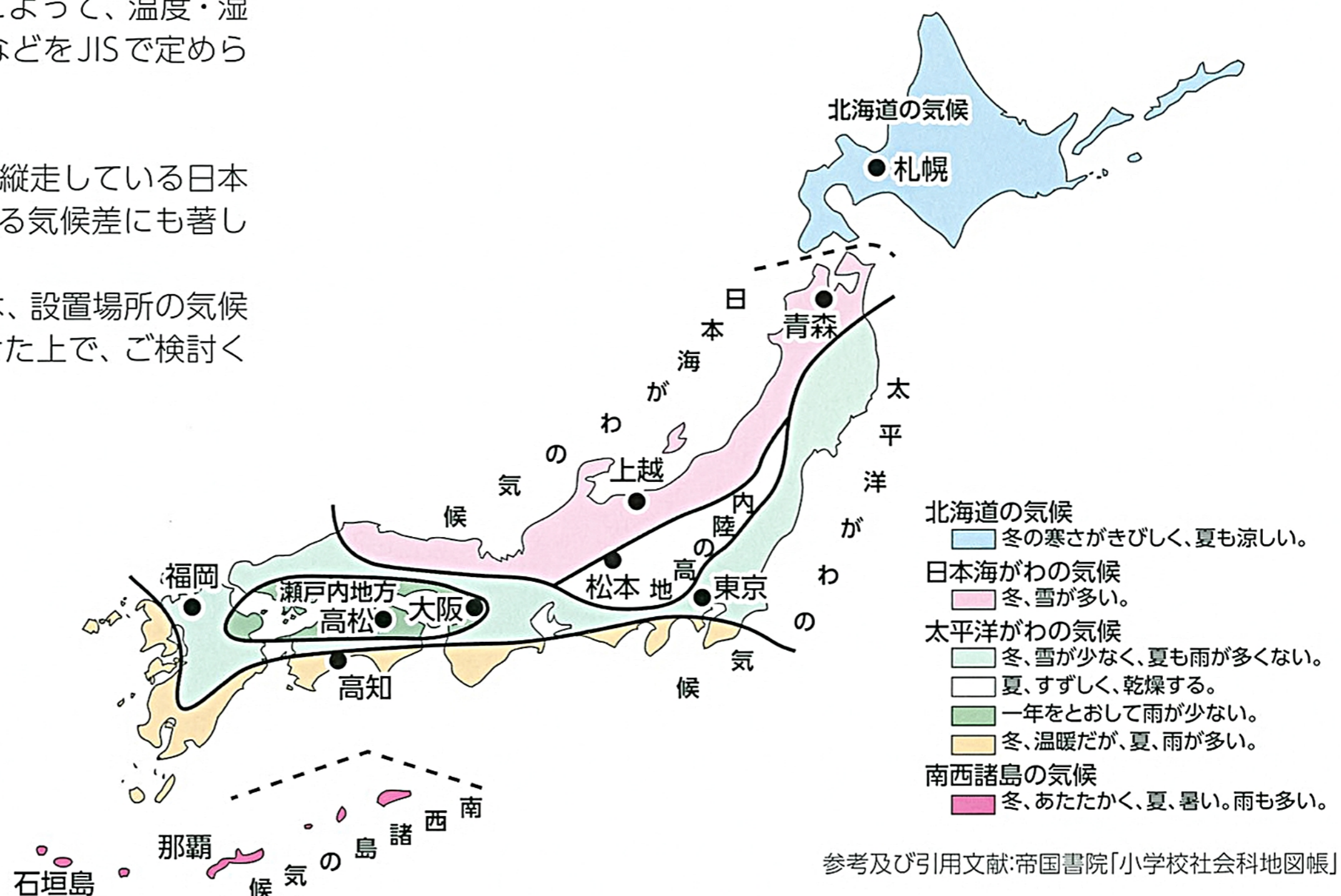
試験方法：JIS A 1415 WS-A法

剛性、耐候性に優れ、肉厚が薄くても強度を保つことができる高密度ポリエチレン樹脂を、ブロー成形（吹込成形）で製品化したものです。さらに、長時間の屋外での使用に耐えられるように、ポリエチレン樹脂に紫外線吸収剤を添加して物性値の劣化と褪色への対策としています。サンシャイン・ウェザーメーター（図-1参照）によるテスト結果では2000Hにおいてもほとんど変化は見られません。そして、再加熱によるリサイクルが容易であり、環境にもやさしい素材といえます。ブロー成形によるダブル・ウォール構造は表裏一体成形となっているためボリューム感があり、耐衝撃性にも優れています。また、難燃剤の添加により各種難燃グレードへの対応も可能です。

サンシャイン・ウェザーメーター（図-1）

耐候性試験に用いられるサンシャイン・ウェザーメーターは、自然曝露での表面劣化の現象を人工的に短時間で再現する試験機です。この試験機によって、温度・湿度・水スプレー（降雨）・紫外線照射などをJISで定められた条件のもとに行います。

南北に長く、本州の中央を脊梁山脈が縦走している日本は、四季の変化だけでなく、地域による気候差にも著しいものが見られます。屋外設置用として製品を選ばれる際は、設置場所の気候条件と、製品の耐候性を照らし合わせた上で、ご検討ください。



参考及び引用文献: 帝国書院「小学校社会科地図帳」